

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	ホームページによる広報活動事業			事業番号	001-003
担当部署名	市長公室	局	広報戦略	部	広報課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(2) 市政への信頼獲得、ブランド力の向上に向けた戦略的広報の展開
		有	取組の方向性	①堺市ホームページを総合情報プラットフォームにリニューアル			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
		有	取組	—			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	目標値	—
2	関連計画	堺市広報戦略					
3	事業開始年度	平成 9 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	本市が発信する情報を伝えたい方、知りたい方（本市施策・事業の対象者）
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> 市民生活に関する情報を的確かつタイムリーに伝え、市民サービスの向上、市民の安全・安心に資する。 市政に関する情報を的確かつタイムリーに市民に発信することで、市政の見える化を推進するとともに、市民の市政への信頼・関心を高め、市政への参画、更には協働を促進する。 堺市の魅力やまちづくりを市内外に発信し、都市イメージの向上、堺への愛着の醸成を図り、集客交流の促進、人口誘導に寄与する。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	市ホームページにおいて、市政や暮らしに関する情報、災害時の緊急情報、市の魅力・観光情報、イベント情報などを発信するにあたり、即時的にページの作成・更新を行うことができるCMS（コンテンツマネジメントシステム）を年間を通じて安定的に運用する。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	CMS運用保守業務委託契約の受注者
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	点検年度
11 市ホームページが「利用しやすい」と答えた人の割合	%	目標値	80	80	80	80
		実績値	71	60		
		達成率	89%	75%		
当該指標を選定した理由	実際にホームページを利用した方の満足度を把握できる指標であるため					
目標値の設定根拠・算出方法	市政モニターアンケートで堺市ホームページが「利用しやすい」「どちらかといえば利用しやすい」と答えた人の割合（利用していない人を除く。）					
12 活動指標(成果を上げるための手段)	件	目標値	45,000,000	45,000,000	45,000,000	
		実績値	40,719,900	65,255,434		
		達成率	90%	145%		
当該指標を選定した理由	ホームページの利用状況が客観的に把握できる指標であるため					
目標値の設定根拠・算出方法	アクセス解析ツールにより算出					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	ホームページによる広報活動事業	事業番号	001-003
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	決算	決算	予算	決算	予算	
事業費 (a)	22,053	14,666	15,860	13,347	31,506	
13 財源内訳	国支出金	17		21		
	府支出金					
	市債					
	その他（関西国際空港支出金）	120	120	120	120	120
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	21,916	14,527	15,740	13,206	31,386	
14 人件費 (b)	7,890	7,830	15,770	15,770	15,270	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	29,943	22,496	31,630	29,117	46,776	

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								R2	決算
16 事業費内訳	CMS運用保守	R2	決算	13,347	13,206	R2	決算		
		R3	予算	14,008	13,888	R3	予算		
	ホームページリニューアル業務委託料	R2	決算	0	0	R2	決算		
		R3	予算	17,498	17,498	R3	予算		
		R2	決算			R2	決算		
		R3	予算			R3	予算		
		R2	決算			R2	決算		
		R3	予算			R3	予算		
	R2	決算			R2	決算			
	R3	予算			R3	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 市ホームページが「利用しやすい」と答えた人	人	589,300	498,000
② 上記①にかかる年間経費	千円	22,496	29,117
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	38	59
備考 (算出についての説明等)	市ホームページが「利用しやすい」と答えた人の割合 (令和元年度71%、2年度60%) ×堺市民人口 (83万人)		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	市ホームページのアクセス数が前年度に比べ、約1.6倍に増えており、ホームページによる情報発信のニーズが高まっていることが分かる。一方で、市ホームページが「利用しやすい」と答えた人の割合は約11%下がっているため、利用しやすいホームページに改善し費用対効果をさらに高めていく必要がある。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	令和2年度は、ホームページから新型コロナウイルス感染症の情報をタイムリーに発信するとともに、各部局の情報を横断的にまとめたポータルサイトを開設するなど、分かりやすい発信に努めた。 しかしながら、市ホームページが「利用しやすい」と答えた人の割合が下がっていることから、利用しやすいホームページへの改善が必要である。全ての方が見やすく使いやすいホームページになるよう、令和3年度にホームページをリニューアルし、改善を進める。
----	---